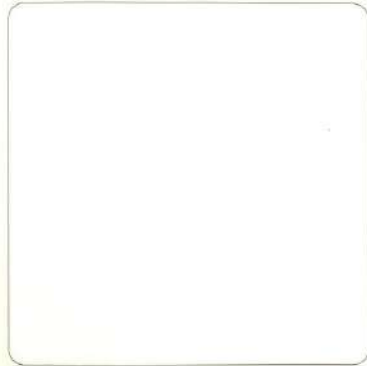




國盛
酒の文化館

見学記念スタンプ



- 車でお越しの場合
知多半島道路の半田中央IC又は
半田ICより15分
- 電車でお越しの場合
名鉄知多半田駅徒歩15分
JR東海武豊線半田駅徒歩7分

入館料無料。電話でご予約ください。
TEL0569-23-1499
FAX0569-23-1379
開館時間/午前10時から午後4時まで。
休館日/木曜日
(本曜日が祝日の場合はその翌日)
年末年始
連休み(8月中旬4日間)



ここで産る、日本のうまさ
中壘酒造株式会社
愛知県半田市東本町2丁目24番地
TEL0569-23-1231
<http://www.nakanoshuzou.jp>

かつての國盛蔵をそっくり生かした文化館。杜氏たちの酒つくり唄が聞こえてきそうです。

分司(ぶんし)
蒸米をシキから切り出す
時使用しました。

櫛(か)
酔つくりの際、樽の中の酔を
かくはんし、発生するガスを
櫛で抜きました。

三味線(じみやせん)
できた酔をすくって風桶に
入れる時使用した杓です。

仕込みや酒の
貯蔵のために使
った大桶をはじめ各
種の桶、分司から櫛(ふ
ね)などを展示。最新の酒
つくりと照らし合わせて、伝統
の道具を知ることができます。

脚を直接に入れる桶で、
とがた先が流しこみました。

狐(きつね)桶

室(むろ)という高温・多湿の部屋で、か
つてはここで麹菌を繁殖させて品質の
高い麹をつくりました。

和紙人形作家「石垣駒子」さんの作品
で伝統の酒つくりの趣を伝えて紹介。和
紙人形の趣が日本酒にぴったりです。

館内をひと通りした後は、國盛をご案内
する映画を上映。さき酒などにより、國
盛のうまさを実感できます。

天井には、酒造用具や材料の上げ降
ろしに使ったアマダがそのままに残され
ています。

國盛のふるさと尾州半田は、温暖な気候と澄んだ空気に恵まれ
た銘醸地です。酒つくりは江戸時代から盛んで、江戸と上方の
中間に位置したことから「中国銘酒」として江戸でも大いに愛さ
れていました。この好環境に國盛は創業されました。弘化元年
(二八四年)のことです。以来、自らの名の通り、国と共に
盛んとなり、全国で愛飲家を増やしています。そして
酒つくりも、さらに磨かれたうまさ求めて画期的
新工場へ、酒の文化館はこの國盛を育んでき
た酒蔵そのものです。ここで使われた伝統
の道具や資料を保存し、日本の文化
遺産を守る気持もこめて創設さ
れました。

